

りんご栽培情報第5号

令和2年7月17日
氷見市りんご組合 版
J A 氷見市
富山県高岡農林振興センター

■ 1 生育概況と栽培管理について

果実の肥大は平年並です。着果が多い園地では適正な着果数となるように補正摘果を進めてください。

■ 2 今後の病害虫の対策と防除について

梅雨明け後に高温乾燥が続くと、ハダニ類の急増が懸念されます。ダニの発生密度や種類に留意し、発生が見られる場合は、早めに殺ダニ剤を散布してください。

| 回数 | 時期 | 対象病害虫 | 散布薬剤名 | 希釈倍数 | 10a当 散布量 | 100L当 必要薬剤(g, cc) | 防除実施日 (自己記入) |
|----|------------------------|---|-----------------------------------|-----------------------------|-------------|----------------------|-----------------|
| 12 | 8月3～5日頃 (防除前に草刈を実施) | 斑点落葉病、褐斑病 ハダニ類 展着剤 | オキシラン水和剤 スターマイトフロアブル マイリノール | 500倍 2,000倍 20,000倍 | 500L | 200g 50cc 5cc | 月 日 |
| 13 | 8月13～15日頃 | 褐斑病 展着剤 | トップジンM水和剤 マイリノール | 1,500倍 20,000倍 | 500L | 66g 5cc | 月 日 |
| 14 | 8月23～25日頃 | 斑点落葉病、褐斑病、輪紋病、すす点病、すす斑病 シンクイムシ類、カメムシ類 展着剤 | ベフラン液剤25 ダントツ水溶剤 マイリノール | 1,500倍 4,000倍 20,000倍 | 500L | 66cc 25g 5cc | 月 日 |

※他の作物へ飛散（ドリフト）しないように、注意して散布してください。

※褐斑病が目立つ場合はトップジンM水和剤（1,500倍、6回以内、前日まで）を散布してください。

※スターマイトフロアブル散布前に草刈りを行ってください。

※スターマイトフロアブル散布後にハダニ類が多発した場合は、コロマイト水和剤（2,000倍、前日まで、1回）を散布してください。

※園地内へカメムシの飛来が確認される場合は、速やかに効果の高い殺虫剤（モスピラン顆粒水溶剤：4,000倍 3回以内 前日まで）を散布してください。

■ 3 落果防止剤について

収穫前落果の多い品種には、落果防止剤を散布しましょう。

| 散布薬剤名 | 使用目的 | 散布時期 | 希釈倍数 | 10a当 散布量 | 使用回数 |
|----------|---------|--------------------|-------------------|--------------|------|
| ストッポール液剤 | 収穫前落果防止 | 収穫開始予定の 25日～7日前 | 1,000倍～ 1,500倍 | 300～ 600L | 2回まで |
| ヒオモン水溶剤 | 収穫前落果防止 | 収穫開始予定の 21日～4日前 | 1,000倍～ 2,000倍 | 300～ 600L | 2回まで |

※ストッポール液剤を2回散布する場合は10日間程度間隔を空けてください。

※ストッポール液剤は高濃度処理で果肉が軟化する点に留意し、展着剤は加用しないでください。

※ヒオモン水溶剤の散布は、「つがる、千秋、秋陽、こうたろう、秋映、玉林、紅玉、陽光」を対象品種としてください。

■ 4 着果数の見直しと補正摘果について

果実が肥大し、着果が多い園地・樹では、着果過多が目立つようになってきました。果実同士の間隔が狭かったり、ぶつかっていたりしているものや、傷果等を中心に随時、補正摘果を行って下さい。

葉色が淡く葉数が少ない樹勢が弱っている樹は、果実の肥大が悪く、果形は扁平になります。このような弱樹勢樹は、着果数を少なめにして、樹勢の強化に努めてください。

■ 5 かん水について

梅雨明け後から高温・乾燥状態が続く、果実肥大への影響と日焼け果の発生が懸念されます。ほ場が乾燥しすぎないように5～7日間隔で朝夕の涼しい時間帯にかん水を行ってください。特に苗木や若木については十分にかん水を行って下さい。

■ 6 支柱入れについて

果実が肥大するにつれ、主枝等に大きな負担がかかってきます。支柱入れを行い、主枝、亜主枝等の枝折れを防ぎ、結果枝どうしに空間をつくり、薬剤と光の通りを良くしましょう。

■ 7 台風対策について

今後、台風の接近による強風被害の発生が懸念されます。被害を軽減するため、以下の点に留意して対策を実施してください。

(1) 事前点検

支柱・縄の点検：大枝、わい性台木樹、若木等の支柱や結束縄の強度の点検・補強

防風施設の点検：支柱やネットなどの点検・補強

排水路の点検：明きよ、暗きよ排水路の点検・手直し

(2) 事後点検

傷口の保護：枝折れ等の傷口はきれいに切り直し、トップジンMペースト（3回以内）などを塗布する。

倒伏樹の回復：倒伏した樹は根を傷めないように引き起こし、支柱入れと根回りのかん水を行う。根の損傷はきれいに切り直し、トップジンMペーストなどを塗布する。

褐斑病等の感染拡大防止：長時間の強風後や、豪雨があった場合、台風通過後速やか（1～2日後）にトップジンM水和剤（1,500倍、前日まで、6回以内）を散布する。